

令和6年5月6日～5月12日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和6年度第2報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

5月6日～5月12日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、5月7日と11日に高くなり「注意」を示す21以上となりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、5月9日は4近く低くなる一方、期間はじめと終わり頃は2近く高くなる等、暑さ指数(WBGT)は激しく変化しました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、那覇で「嚴重警戒」を示す28以上になる日がありました(表1、表2参照)。

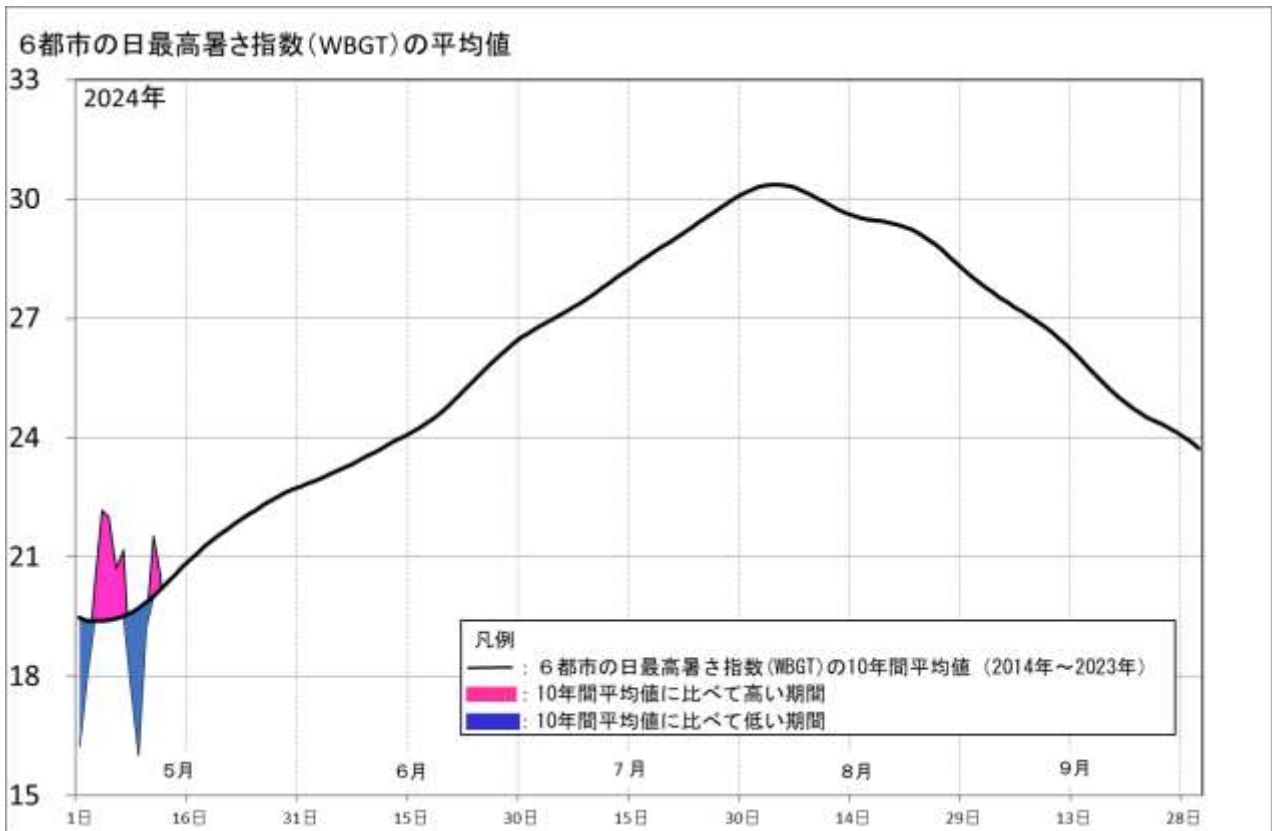


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(5月6日～5月12日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
6	16.9	21.6	20.0	20.8	20.1	20.2	19.4	22.3	23.8	22.5	28.8	20.7
7	16.3	19.9	20.8	21.4	23.8	20.7	20.5	23.0	19.8	22.5	25.5	21.2
8	7.7	17.2	12.4	21.9	19.3	18.1	16.7	21.1	17.8	21.5	24.6	17.7
9	13.1	13.9	14.1	17.2	15.9	15.0	16.1	17.2	17.9	19.2	21.1	16.0
10	15.9	18.9	18.4	18.9	20.9	16.9	18.3	20.7	21.9	21.3	24.1	19.2
11	17.2	22.0	20.4	22.6	21.7	21.4	20.1	22.7	23.0	23.4	25.4	21.5
12	18.5	21.2	21.5	21.8	20.1	21.1	18.1	21.7	20.2	21.2	28.3	20.5

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の5月6日～5月12日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
25以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31

ほぼ安全	注意	警戒	嚴重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

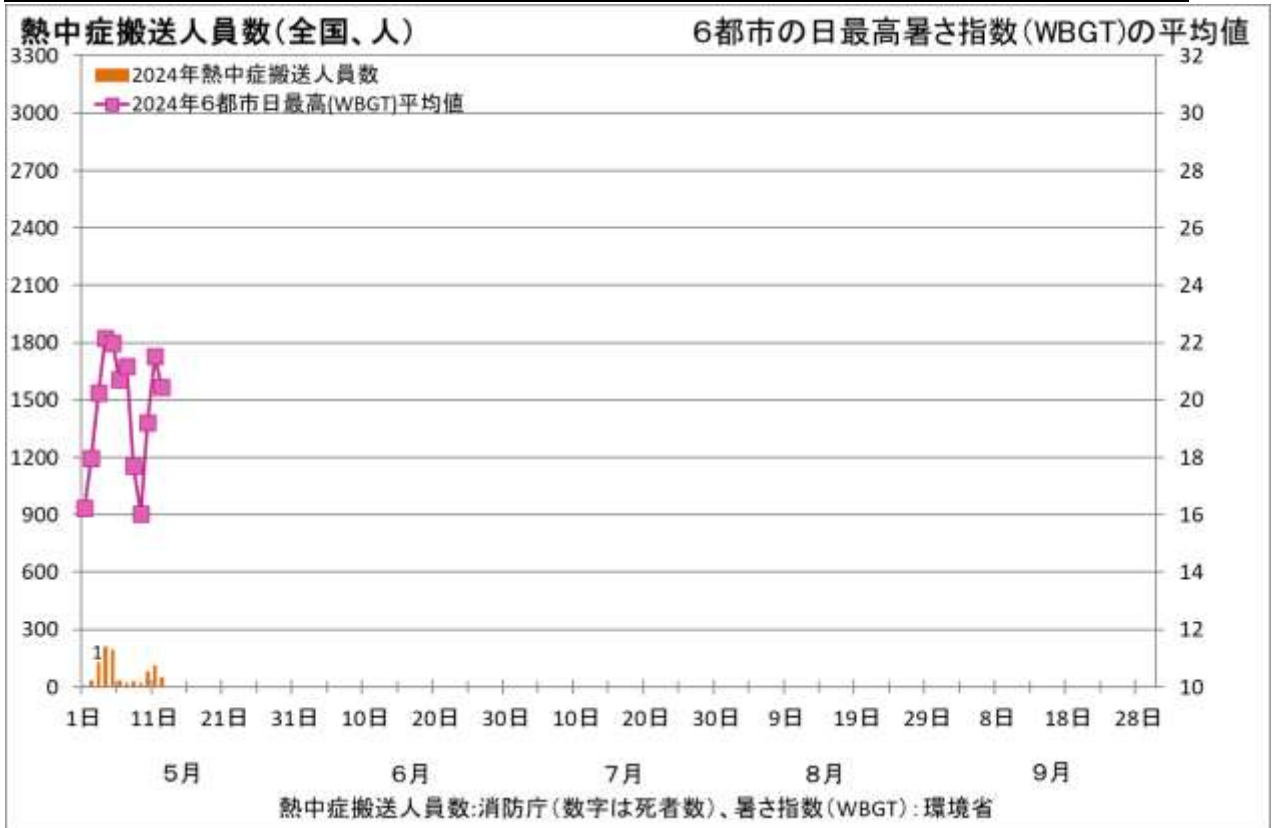


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

5月6日～5月12日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、5月7日と11日に高くなり「注意」を示す21以上となりました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、多い日が5月11日の108人で、5月6日～12日の総数は335人となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラート等の発表状況

5月6日～5月12日の間、熱中症警戒アラートの発表はありません(表3)。また、熱中症特別警戒情報の発表もありません。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況(5月6日～5月12日)

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美		沖縄
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0		0
のべ回数	0	0	0	0		0

※1：気象庁の地方予報区単位(別図参照)

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」
回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通し

5月17日までは、東北地方以南で「警戒」を示す25以上に、小笠原諸島(関東甲信)、沖縄地方で「厳重警戒」を示す28以上になる地点がある見込みです。

気象庁の2週間気温予報(5月15日発表、5月16日～5月27日)によると、「北日本の向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため高い日が多く、かなり高い日もあるでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。

関東甲信地方と北陸地方の向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため高い日が多く、20日頃からはかなり高いでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。

東海地方と西日本の気温は、寒気の影響で20日頃までは平年並か低い日が多く、かなり低い所もあるでしょう。その後、暖かい空気が流れ込みやすくなるため高く、かなり高い日が多いでしょう。農作物の管理等に注意するとともに、熱中症対策など健康管理に注意してください。

沖縄・奄美の気温は、寒気の影響で19日頃までは平年並か低く、その後、暖かい空気が流れ込みやすくなるため高い日が多いでしょう。」となっております。

(参照：2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>)

